

第2回アジア美術展

2nd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA

主催 第2回アジア美術展実行委員会 福岡市美術館 西日本新聞社 建福 外務省 文化庁 国際文化交流基金 IAA日本国内委員会(日本美術家連盟) スリランカ大使館 インド大使館 (タイ) スタン大使館 (ネパール) 本館館 タイ大使館 マレーシア大使館 (バングラデシュ) 大使館 中国大使館 (インドネシア) 大使館 韓国大使館 フィリピン大使館 シンガポール大使館 ビルマ大使館 (特) 福岡市美術館協会 旭水稲岡地区局 インドネシア教育文化者 フォルキサンフア美術展 特別協力 日本航空 ガルーダ・インドネシア航空

福岡市美術館

〒810 福岡市中央区大濠公園1-6 TEL092-714-6051

「特別部門:バリの美術」1985年11月2日(土)-12月1日(日)

観覧料 一般700円(600円) 高大生500円(400円) 小中生250円(150円) ()内は前売または団体(20名以上)料金 月曜日休館 ただし、11月4日は振替休日のため開館し、11月5日に休館

1979年に開館した福岡市美術館は、“古代以来のアジア諸国との交流”という福岡市が歩んできた歴史的な背景にかんがみ、国際交流活動の中心を“アジア諸国との積極的な美術文化の交流”においている。この方針にそって、開館記念展として2部構成による『アジア美術展』を開催しアジア各国に大きな賞賛と反響を呼び起こした。

第1部展「近代アジアの美術—インド・中国・日本—」(1979年)ではアジアを代表する3か国の美術が、近代100年にわたって西洋からの強い影響を受けながらたどった変容の歴史を把えて紹介し、続く第2部展「アジア現代美術展」(1980年)では、ほぼアジア全域におよぶ13か国(スリランカ、インド、パキスタン、ネパール、タイ、マレーシア、バングラデシュ、中国、インドネシア、韓国、フィリピン、シンガポール、日本)の参加を得て、西洋の模倣から脱しようとして激しく息づくアジア各国の代表的な現代美術を紹介した。

本展「第2回アジア美術展」は、この『アジア美術展』の精神を引き継ぎ、今後は5年毎に開催する定期的な国際展として位置づける

ものである。ただ、今後継続される本展は、開館時の『アジア美術展』の中では序文的な意味合いが比較的強かった第1部展を廃し、第2部展「アジア現代美術展」の精神と方式をその骨子にすえている。

特に今回の『第2回アジア美術展』は、アジア各国の現代美術界の中でも、現在、最も活発に創作活動を展開している作家、前回の『アジア現代美術展』に紹介されなかった優れた中堅・若手作家などを中心に、今、アジアで最もハイレベルにあるものを重点的に紹介し、西洋の模倣とは異なる“新しいアジアの美術”の展開を確認しようとするものである。

なお、特別展示として、アジアの中にあっても、特異な発展を遂げた「バリの美術」を紹介し、“アジアにおける伝統と現代”についての問題も考察したい。

■参加国(アルファベット順) スリランカ、インド、パキスタン、ネパール、タイ、マレーシア、バングラデシュ、中国、インドネシア、韓国、フィリピン、シンガポール、ビルマ、日本 (14か国)



第2回アジア美術展 特別部門:バリの美術

2nd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA

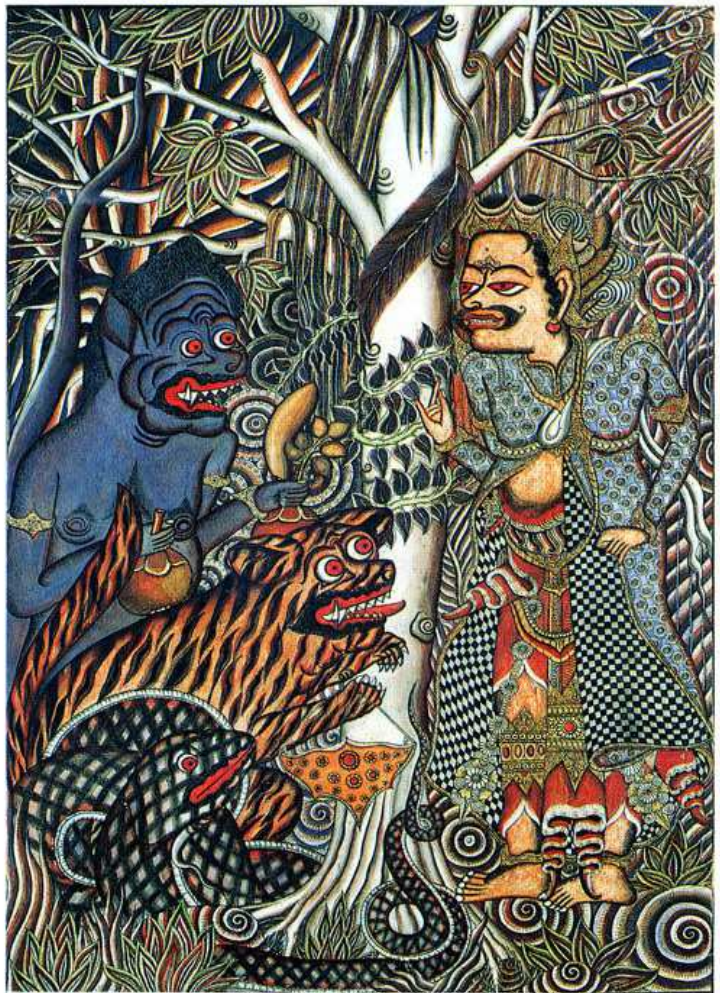
魍魎跋扈す。

神々の夢 魔霊たちの夜 魅惑するバリ

「魅惑の島」、「最後の楽園」と呼ばれるバリは、現代人が忘れてしまった夢が叶う島のようなです。機械文明がもたらした豊かさの代償として放棄してしまった大切ななにか——それをわたしたちに想い出させてくれるのです。透明な光と水と空気に包まれた神聖で美しい自然——そこで生きる喜びや幸せにひたることができるのです。

バリ島に住む人々は、農耕生活を営み、皆バリ独得のヒンズー教の敬虔な者でもあります。古代インドで生まれた二大叙事詩『マハーラタ』や『ラーマヤナ』に夢中になり、心から、そして彼らは、田を耕すかわらで、絵を描き、舞芝居を演じ、ガムラン音楽を演奏し、ケチー・ダンス、レゴン・ダンスなどを踊る優れた芸術家でもあります。ただ、彼らはそれらを職業とはせず、神々との交歓のために供える行為者としての芸術家なのです。

バリ島の美術には古い歴史と伝統がありますが、1920年代に大きな転換期をむかえました。本展には、その20年代以降、今日までの絵画と彫刻、30余点を展示します。神々と悪霊たちとの戦い、生成と破壊、畏れと至悦、あるいは神聖な自然の讃歌など、夢の扉からのファンタスティックなメッセージがわたしたちを驚かすに違いありません。



展覧会予告

シルクロードはかな美の光芒

中国敦煌展

12月5日(金)

12月5日(木) - 12月27日(金)

福岡市美術館

第2回アジア美術展

2nd ASIAN ART SHOW, FUKUOKA

記念シンポジウム

プログラム

COMMEMORATIVE SYMPOSIUM

PROGRAM

基本テーマ

アジア現代美術－将来の展望

BASIC THEME

“CONTEMPORARY ASIAN ART—ITS FUTURE PERSPECTIVE”

会期 1985年11月3日(日)－4日(月) 会場 福岡市美術館講堂

DATE NOVEMBER 3(SUN)－4(MON), 1985

PLACE AUDITORIUM of FUKUOKA ART MUSEUM
